



# February in Germany



Hakata Rotary Club 2013-2014 Kawasaki Riyo

こっちに来てもう半年が過ぎようとしています。この半年は私にとってとても速く過ぎたような気がします。来たときには全部が新しく慣れるのに大変だったことや、語学力もあまりなく本当に苦労した日々でした。しかし、優しくいつも私の見方であるホストファミリーが支えてくれたことで、少しずつ楽しくなっていました。そんな6ヶ月はもう過ぎてしまい、残りの5ヶ月はどんな物になるんだろう、と思います。多分それも早く過ぎていくんだなあ、と考えると少し悲しくなりますが、残りをいつもみたいに楽しく過ごしていきます。

今、学校の行事で実習(Praktikum) というものを幼稚園でしています。要旨は、将来自分の仕事をするにあたって、仕事がどれだけ大変か、仕事で得られる利益とは何か、を学ぶためです。朝は7時半からで、終わりは5時という、結構ハードな実習ですが、毎日小さな子供たちと楽しく過ごしているので時間は早く過ぎ去ります。これは本当の仕事のようで、子供たちの世話をするのはもちろん、掃除や食器運びなど生活に必要なこともするので大変です。しかしだいたいは、遊ぶことしかしないので楽ではありませんが結構たのしいです。

しょっちゅうけんかがあります。物の取り合いや、口喧嘩、誰かに何かをやられたときなど、いつも私が解決しなければいけません。もちろん、ほかの先生に手伝ってもらうときは在りますが基本一人で任されているのでいつも私が慰めたり、止めるなどしています。しかし皆可愛くてとてもいやされます。



今日は幼稚園での最後の日でした。3週間本当に良い思い出ばかりでもう来れなくなるのは寂しいけど、学校帰りに遊びにきて良いからね、と言われたのが嬉しかったです。子供たちみんなは悲しそうだったけど、最後にはプレゼントをもらいました。私は扇子を10本プレゼントしました。この3週間、仕事という物はきつくて疲れるけど、やりがいがあるということに気づかされました。



今日はホストファミリーとそりをしに山まで行きました。町には雪は全く在りませんが、山には沢山積もっていて気分は皆ルンルンでした。



今日は第二ホストファミリーとの最後の日でした。夜は、マザーとファザーのみそ汁と唐揚げを作りました。さすがマザー、料理がうまいだけあって唐揚げの作り方を知っていました！びっくりでした。私は作り方をあまり知らなかったけど今回はとっても美味しくできました。みそ汁はホストブラザーたちにとっては少し厳しかったようです。また箸を上手く使おうとしている姿を見て可愛いなあとおもいました。また、手紙を書き、渡しました。とても喜んでくれて嬉しかったです。また3ヶ月後戻って来れるので嬉しいです。



」



ホストシスターのAlinaは今、私の町のプリンセスに選ばれています。最初聞いたときは何のことか全く分かりませんでした。これは1年に一回ある町の祭りらしくて、今年のプリンセスはAlinaとプリンスはJochenです。プリンセスは綺麗な短いドレスを着て踊ります。なので今はカーニバルの時期です。もちろん家でもそうですが、Alinaが、毎日夜中までパーティーをやっているようでとても忙しそうです。



今日は、初めて私のカウンセラーさんと会いました。彼女はJenniferとって、とても優しく明るい方です。町に行き、"Little Tokyo"という日本食を食べにいきました。私の町に日本食があるとは知らなかったのでびっくりしました。最初Sie(尊敬語)を使って話していたら、Du(友達同士の語)でいいよ！と言われました。私は寿司2個と焼き鳥頼みましたが、それじゃ足りないでしょといわれ、大盛りの寿司を頼んでいました。さすがに2人で食べました。



今週末、金、土、日、月曜日はすべてカーニバルが在りました。なにより今年は、シスターが主役なのでホストファミリーにとって人生で一回しかない大きなカーニバルです。この祭りは人々がそれぞれ面白いコスチュームをきます。金、土曜日、私は何か良く分からないけどデビルマンのようなものになりました。なんと夜22時に家を出たので帰ってきたのが3時過ぎでした。日、月曜日はカウボーイになりました。帽子、ピストル、衣装すべてマザーから借りました。月曜日は、町の店は全部もちろん、学校や仕事がカーニバルのためにまったくありませんでした。また月曜日は最後のアンコールで、沢山の人がいてびっくりしました。家に留まっていた人はいなかったと思うくらいです。私のシスターはプリンセスということで、マザーやファザーは大きな主役の車の上にとっていました。マザーが、あなたも家族だから一緒においで～と言われたので、でも少し遠慮しましたが、一番大きな車に乗ることができました。車から見下ろした景色は、人がゴミのようにいてこんなところにいれるなんて、ラッキーだな、とおもいました。また、お菓子を投げたりして、楽しかったです！！

一番嬉しかったのが、プリンスと写真を何枚もとれたことと、一緒に沢山話できたこと、そして私をホストファミリーの家族のように扱ってくれたことです。また、そのあかしとして、プリンセス、プリンスの家族しか持つことができない、バッジとネックレスをもらうことができました。本当にうれしかったです。1年に一回しかないし、また今年ドイツに来て本当に幸せだと思いました。





今月はかなり充実していました。あと残り4ヶ月頑張ります！